

高齢者介護の未来を開く

Elderly Service Top

平成17年10月期中間決算説明会

平成17年6月14日(火)

日本ロングライフ株式会社

4355 大証ヘラクレス

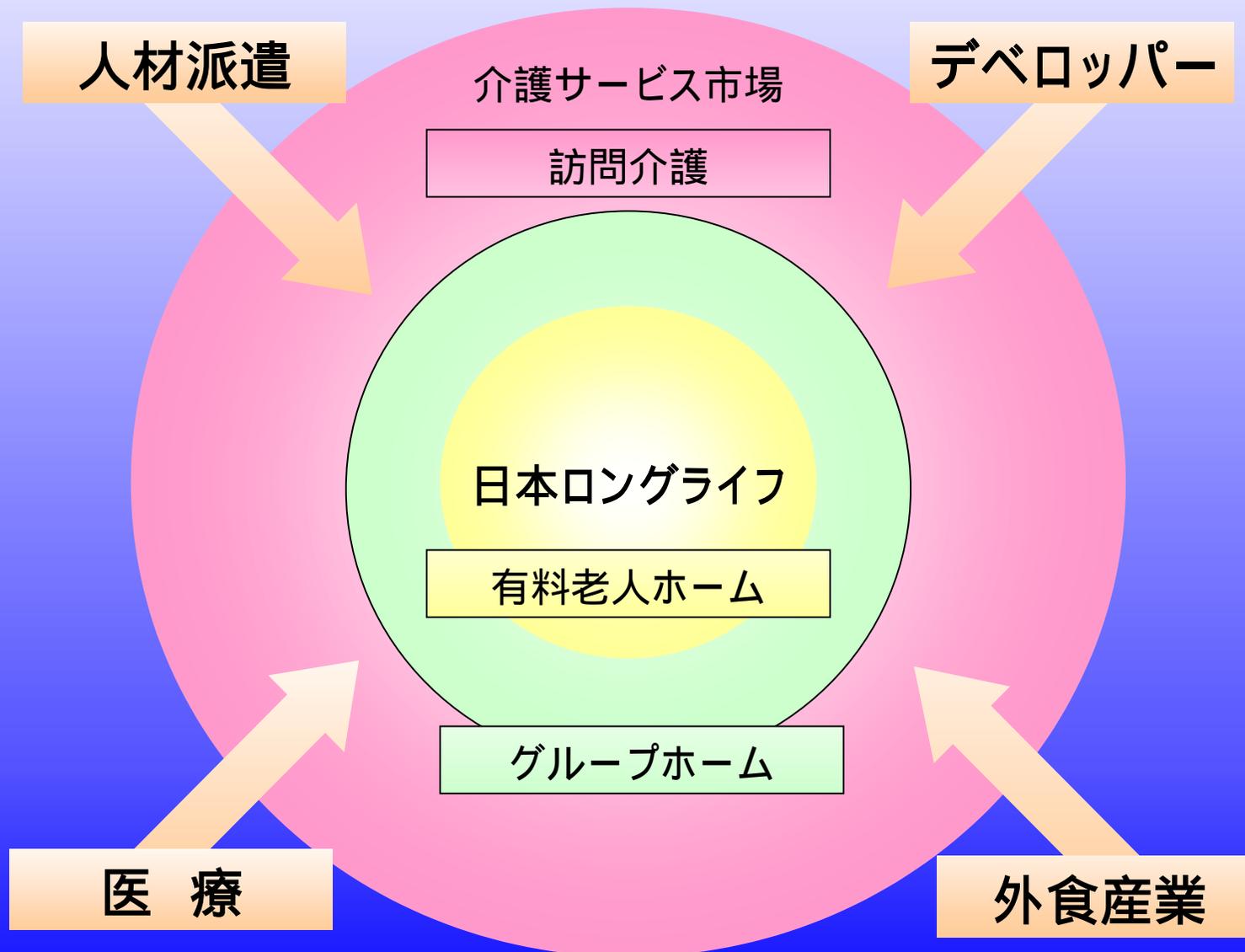
<http://www.j-longlife.co.jp/>

介護業界の現状について

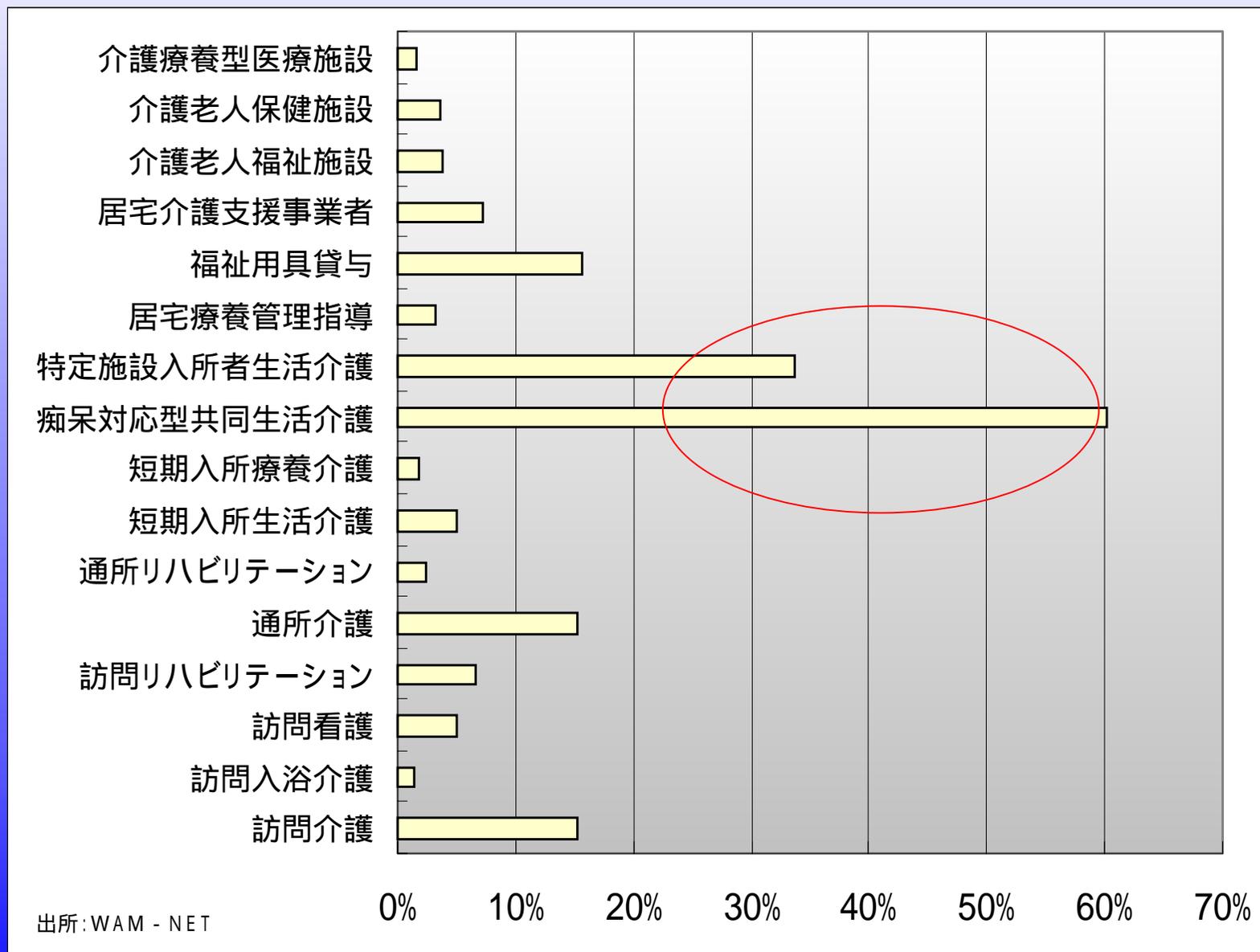
代表取締役副社長

北村 政美

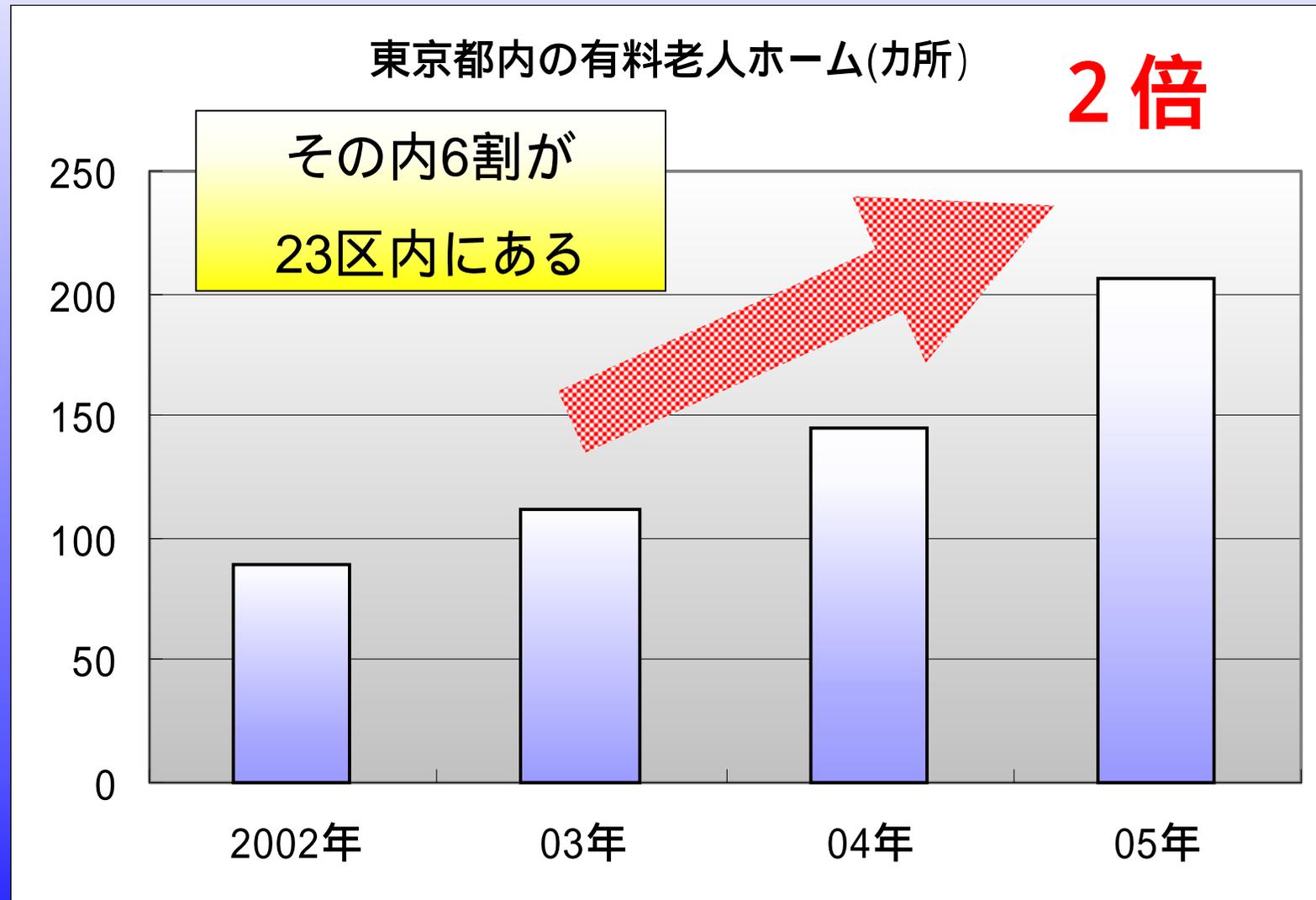
競争激化する介護市場 新規参入組が有料老人ホーム市場へ



介護業界の2002年4月・2003年4月対比伸び率

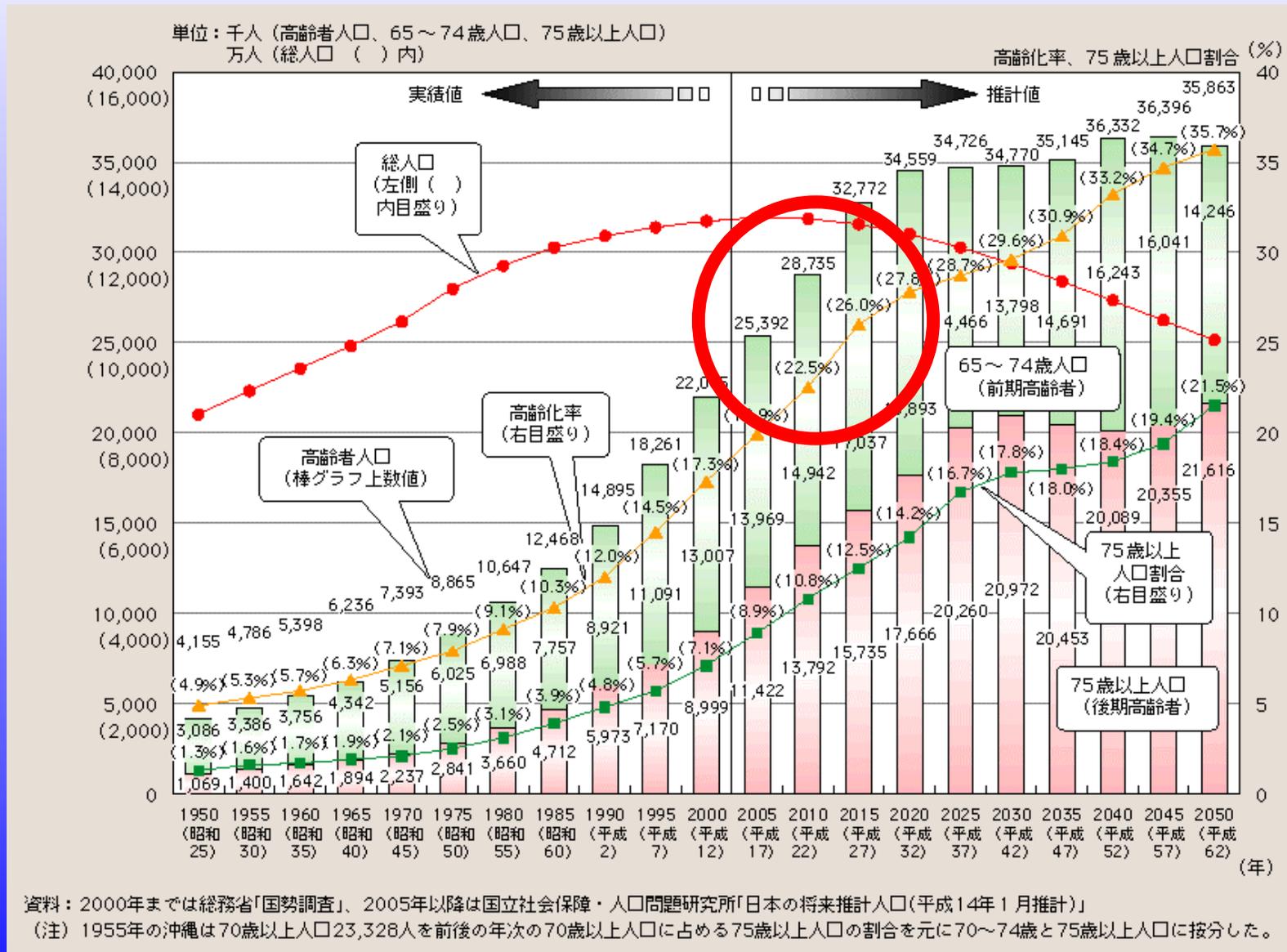


有料老人ホームは最近2年間で倍増ペースにある



届出ベース2005年4月1日時点

一方、2015年までは間違いなく成長が続く

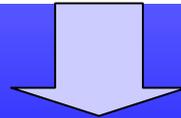


当社の対処策

ターゲットを明確に定め安易に手を広げない
2,000万円の価格帯を中心とした富裕層向け
高級介護付きホーム
立地条件に合わせた手作りホーム
販売力の強化のためのアライアンス拡大

サービスの品質を高め差別化を推進

人材の積極採用・育成
経営の基本理念の徹底
コンプライアンスの徹底

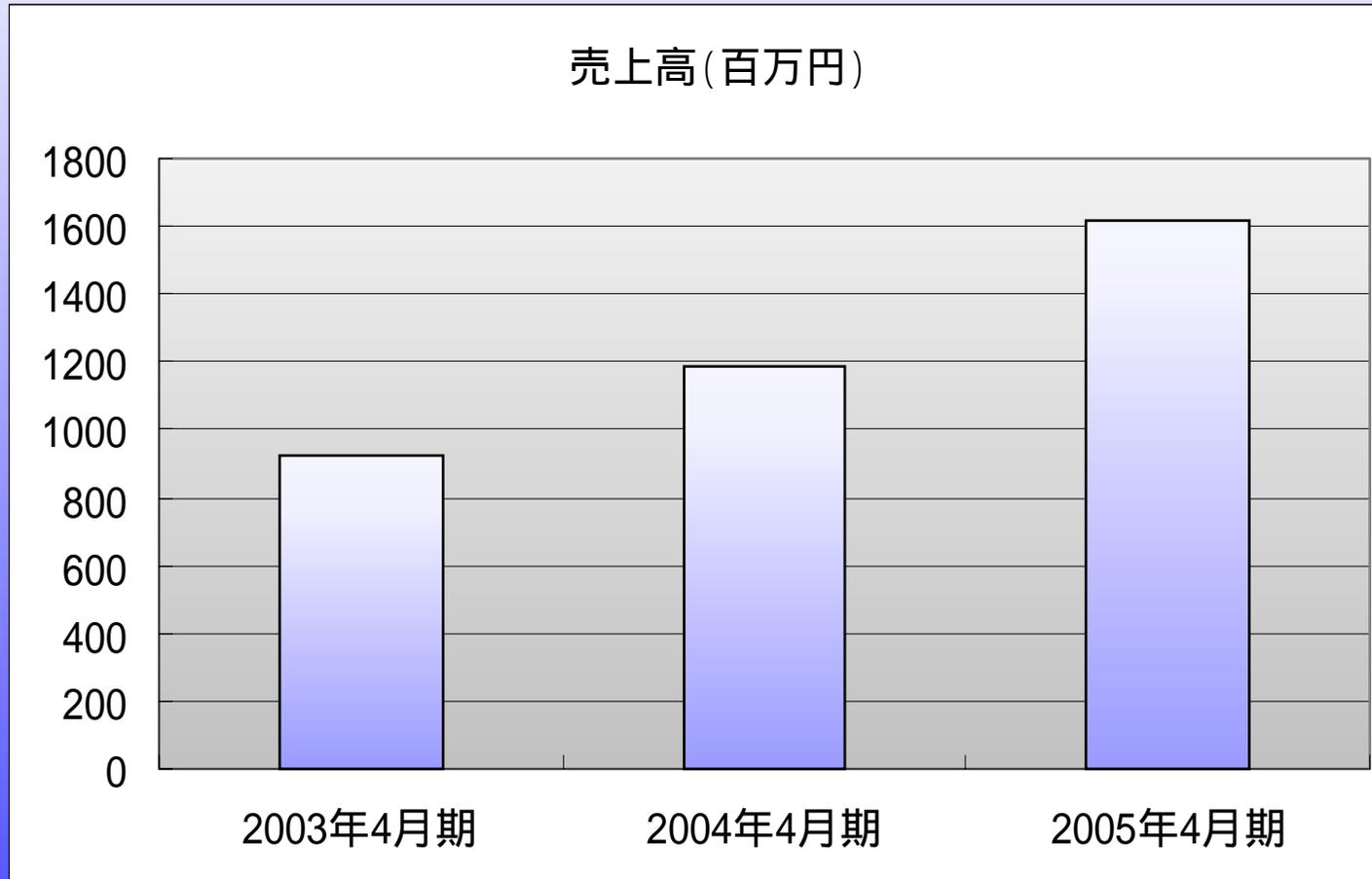


固定費の増大へ

財務ハイライト

平成17年10月期中間決算

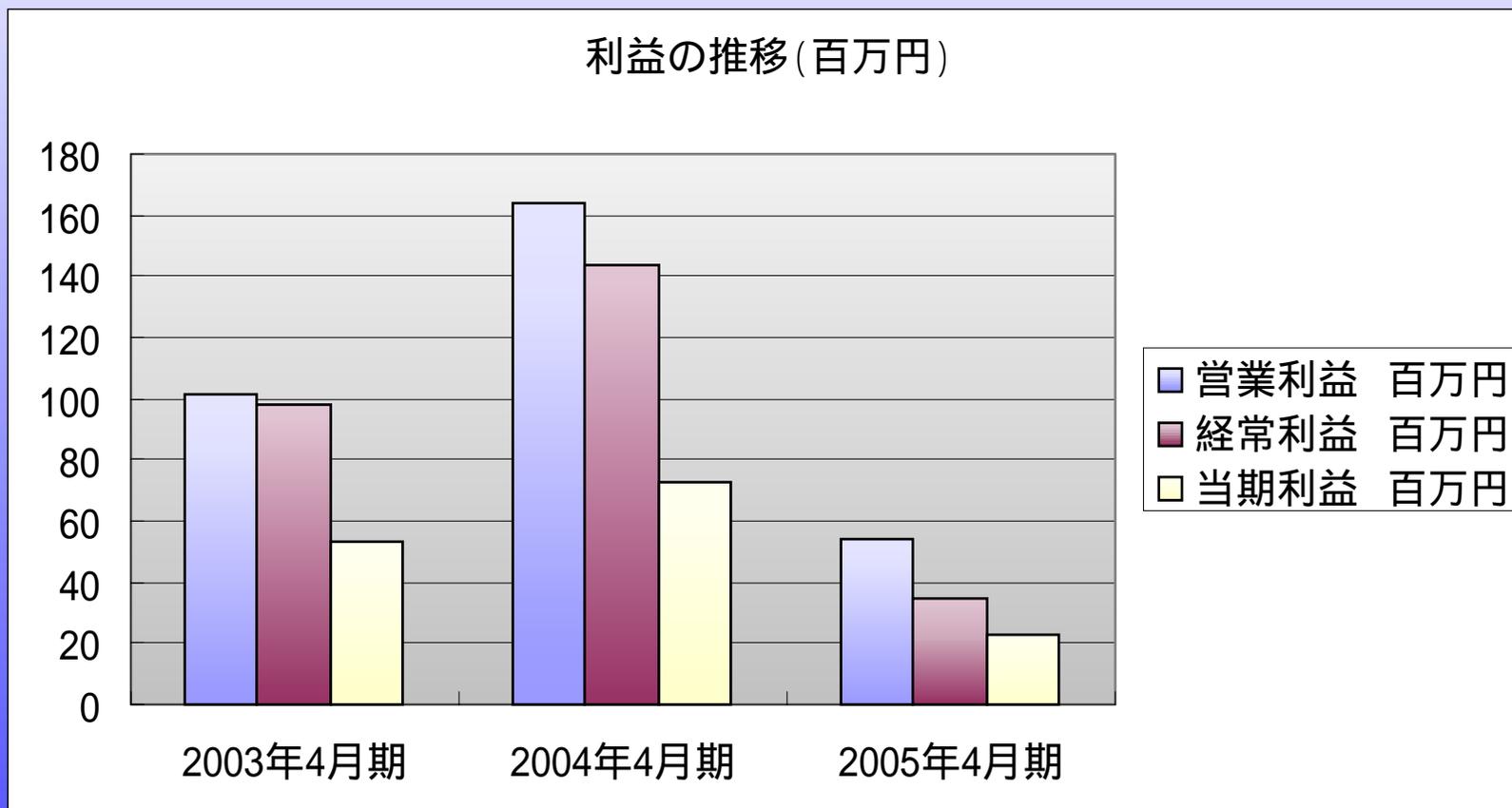
中間決算期売上高の推移



2005年4月期は連結決算

当社主力のホームは倍の勢いで伸びている

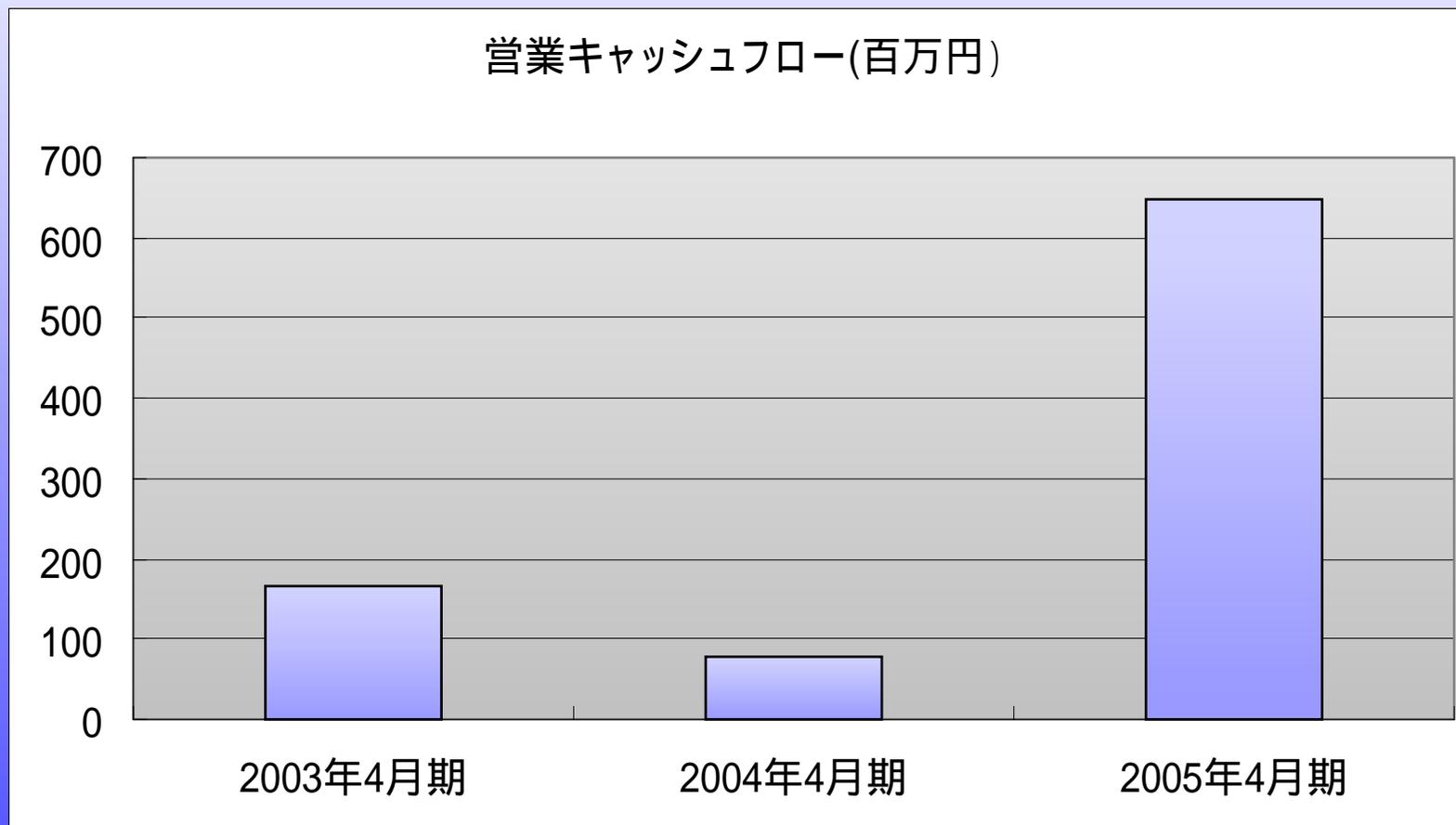
中間決算期利益の推移



2005年4月期は連結決算

収益面は、投資費用がかさみ減少

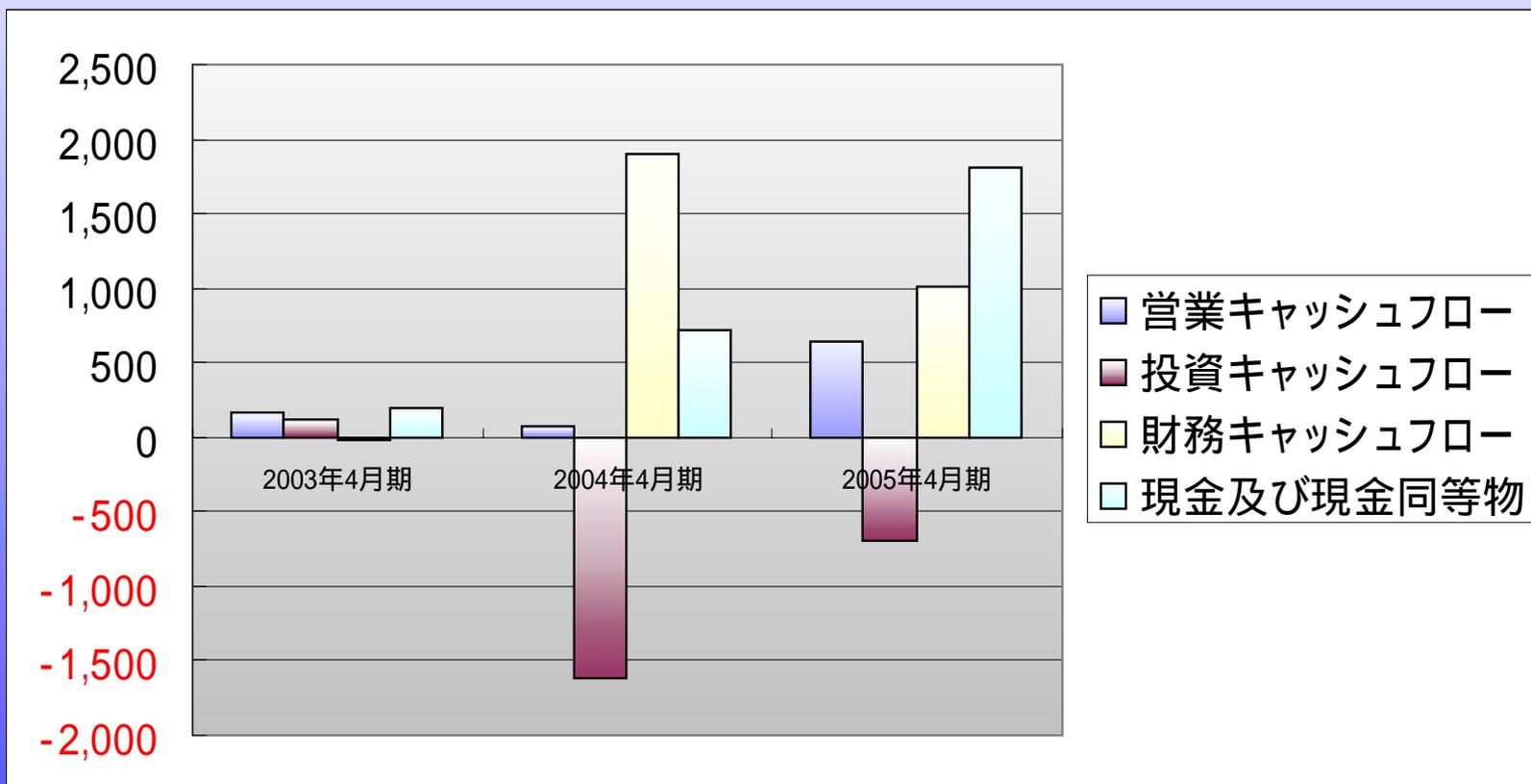
中間決算期営業キャッシュフローの推移



2005年4月期は連結決算

営業キャッシュフローは、増大傾向

中間決算期営業キャッシュフローの推移



2005年4月期は連結決算

手元キャッシュは潤沢な状況にある

損益計算書

(単位:百万円)			
	平成16年10月期 前期	平成17年10月期 今期予想	増減率 (%)
売上高	2,654	3,452	30.0
ホーム介護事業	1,924	2,500	29.9
在宅介護事業	634	833	31.3
その他の事業	95	67	29.4
営業利益	265	107	59.6
経常利益	238	66	72.2
当期純利益	142	33	76.7

2005年10月期は連結決算数値

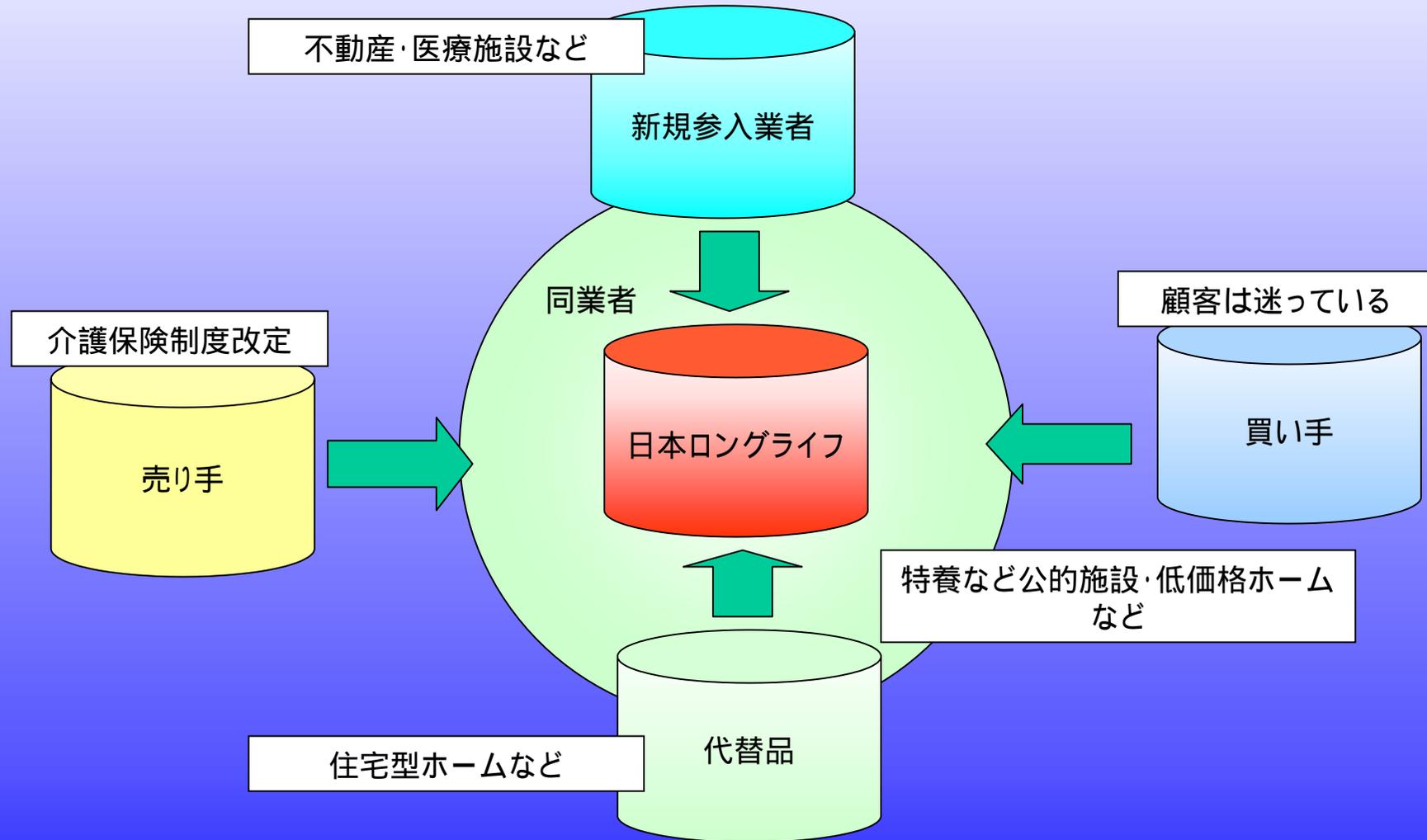
今期は30%の成長を見込むも投資費用がかさみ
減益の見込み

今期経営方針

代表取締役社長

遠藤 正一

ファイブフォース分析 ~ 当社を取り巻く環境 ~



介護業界を取り巻く環境は急速に競争が激化している

5つの敵に勝つために

新規参入業者

ノウハウがない悪質な業者は淘汰される

介護保険制度の改正

本年度で落ち着く、軽度介護業者に打撃

健康老人対応の住宅型老人ホーム

公正取引委員会、厚労省の影響懸念

顧客の迷い現象

個性化・質の高いサービスに帰結

特別養護老人ホーム、低価格ホーム

特養は予算問題、低価格型とは一線を画す

当社は、競争を避け独自のビジネスモデルで特定市場でのシェア拡大を狙う

当社の特長と強み

介護保険非依存度が業界トップクラス

法改正に左右されない

比較的重度な要介護者が多い

今回の介護保険改正の影響は軽微

総合性・安全性・バランス重視の経営

ワンストップ型介護、両代表制の導入

個を重視した立地と顧客に合わせたホームづくり

2,000万円の価格帯を中心とした富裕層向け高級手作りホーム

業界最高のサービスとコンプライアンス

尊厳を意識した質の高いサービスを提供

不動産会社と積極的アライアンス

セイクレスト(JQ)と業務提携など

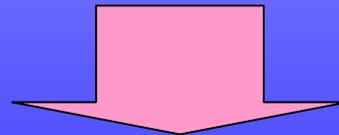
介護保険非依存度業界トップクラス

2005年介護保険制度改正案の当社への影響

当社の要支援、要介護1は全売上のわずか3.3%にすぎない

介護保険5.5兆円のうち、公共部分(特養などの施設サービス)の削減が柱

保険料支払者の拡大(年齢の引き下げ)など市場の拡大論となっている



当社にとっては、有料老人ホームのシェア拡大のチャンスであり、追い風の改正となる

介護保険依存度

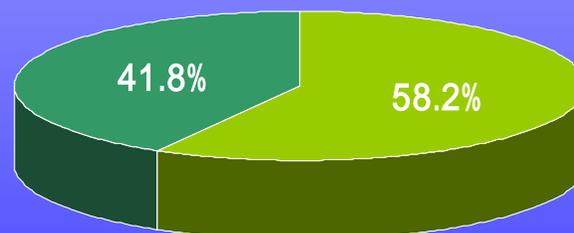
介護保険依存度は年々低下

また、介護保険売上のうち、要支援、要介護1はわずか3.3%に過ぎない。

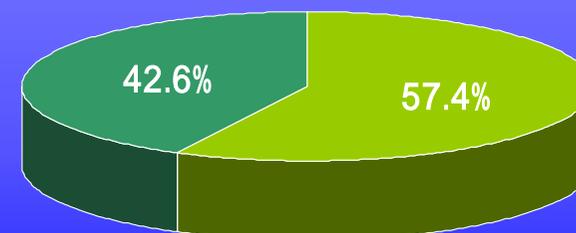
平成15年10月期



平成16年10月期

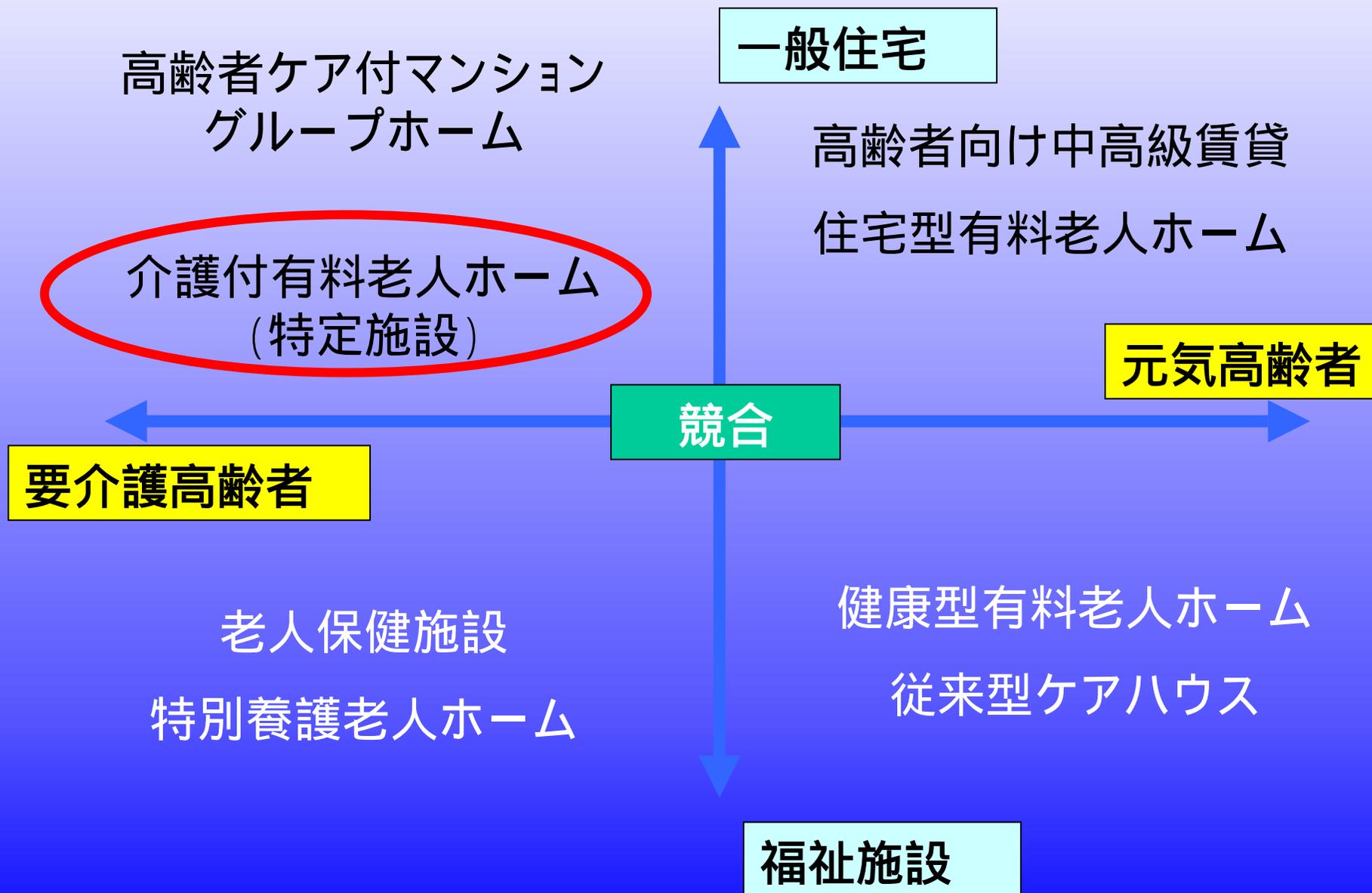


平成17年10月期中間期



■ 非介護保険売上 ■ 介護保険売上

日本ロングライフが注力する市場



個を重視したホームへのこだわり

これからは個性化、差別化の時代。無味乾燥な低価格の建物をつくる時代ではない。

当社のホームは地域に応じて個々のコンセプトがあり、すべてづくりがちがう。ハンドメイドで高級感あふれる落ち着いた自宅さながらの住まいづくりをするのが特徴の一品物である。



ロングライフ千里山

アシステッドとユニットケアの複合型・介護中心



ロングライフ高槻 号館

地域密着型で自立から要介護まで対応



ロングライフ甲子園口

全室アシステッド。夫婦入居の居室もある



ロングライフ芦屋

上層アシステッドと低層ユニットケア複合型

ロングライフ・クイーンズ塩屋4月22日オープン

ハイグレードクラスの有料老人ホーム

神戸の海沿いのリゾート立地。全室アシステッドで居室も広いのが特長。
自立のアクティブな高齢者がターゲット。



積極的に東京一等地に進出

成城のオープンによりホーム介護事業でも 東京に進出



訪問ヘルパーステーション「エルケア」も
東京世田谷・等々力
にオープン



ロングライフ成城

(平成17年9月開設予定)

介護業界の方向性(厚生労働省の指針)

小規模・多機能サービス拠点づくり

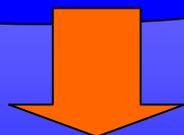
新しい在宅サービスの提供

365日24時間の安心

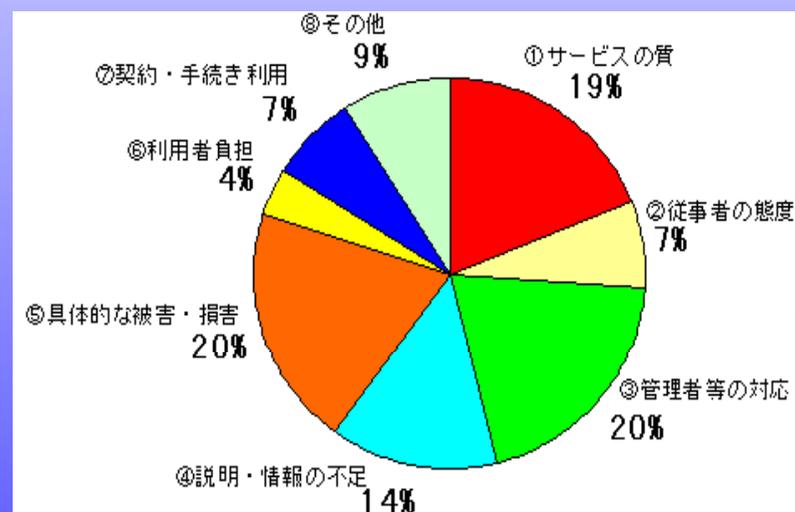
ユニットケア重視

介護人材の育成

特定施設でありながらご自宅
を提供するという考え方

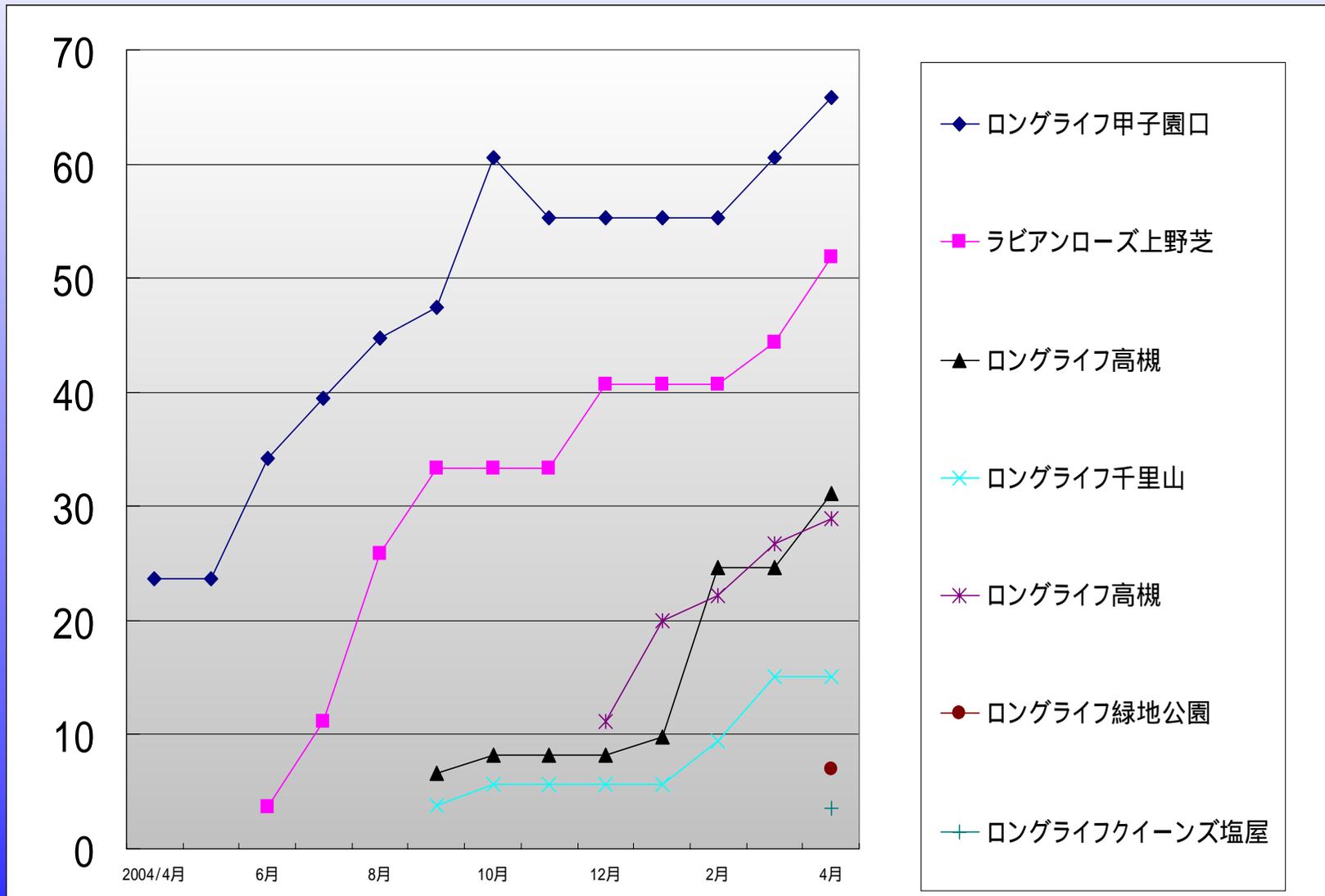


当社が業界をリードして実現する
新しい住まいの提供と安心のサービス



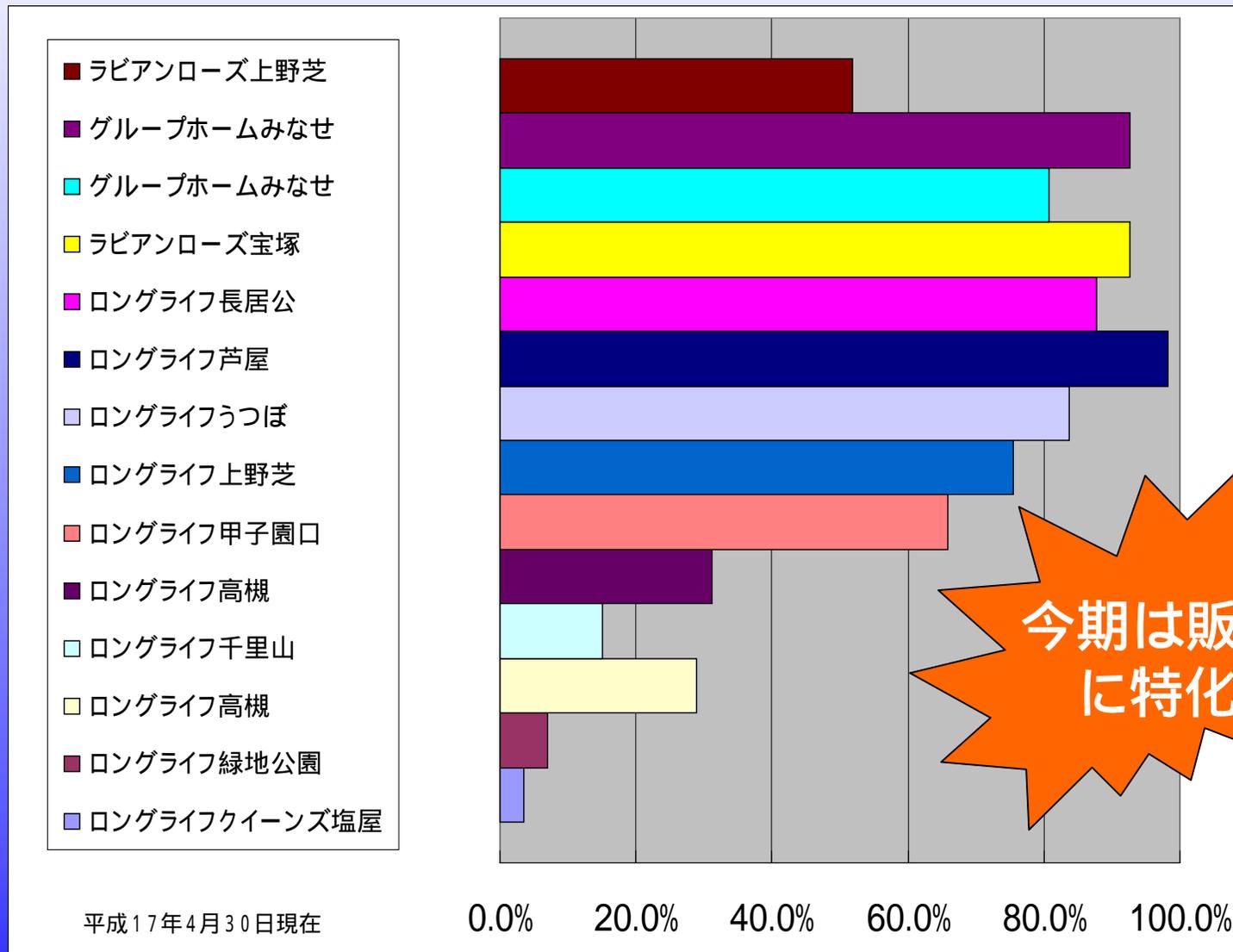
平成14年4月分～平成14年12月分
国保連合会苦情申立内容別累計

直近ホーム入居率の推移



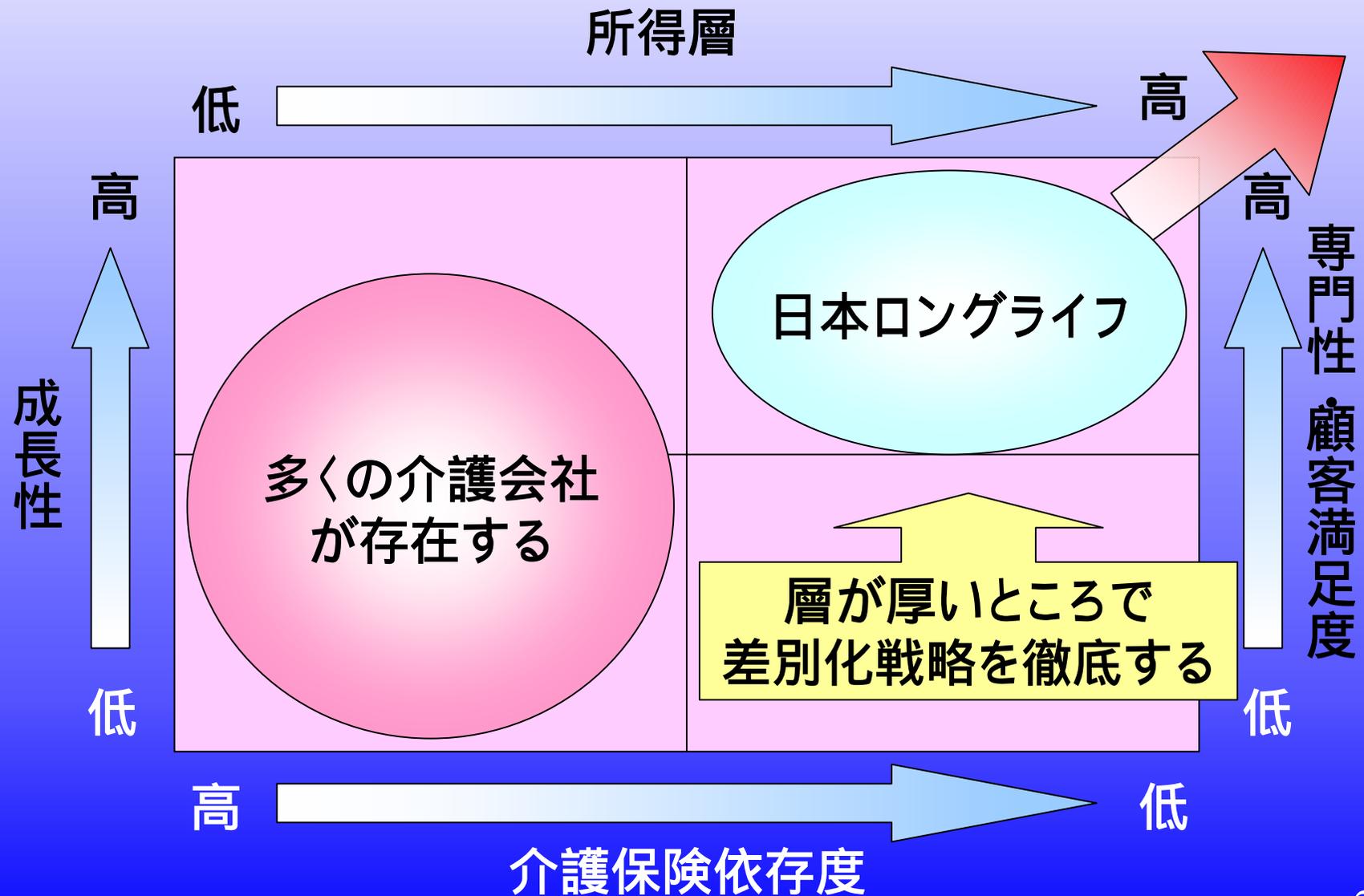
昨年末に開設したホームも入居率改善傾向にある

開設済みホームの入居率



残室を全て入居させるだけで20億円の余地がある

富裕層の顧客ニーズを汲み取り絶対的なポジションを築く



Elderly Service Top

ご清聴ありがとうございました